

北海学園大学 学報

北海学園大学学報 発行・編集 北海学園大学 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 電話011(84)1161 FAX 011(824)3141

トピックス 経営学部 中村暁子講師 退職教職員からメッセージ 北海道学術研究助成事業報告 工学部 原井憲二教授

令和6年度入試状況

で実施され、4119名が受験しました。今年の志願者数は、一般選抜が全体で前年度よりも0.9%の減少でした。

令和6年度 入試状況 (単位:人) Table with columns for Department, Faculty, School Type, and Applicant/Qualified counts.



学長 森下 宏美

卒業生のみなさん、修了生のみなさん、まことに改めてのご挨拶です。心よりのお祝いを申し上げます。

苦難を乗り越え新たなスタート

わたたくしは、昨年4月に学長に就任いたしました。その際の学長メッセージとして、わたたくしは、「北海学園大学の4年間を、自らのよき人生を築くための時間として過ごしてほしい、そしてその人生が、よき社会の実現と重なり合うものであることを願っています。」



2023年7月29日に本学で講演した際の河崎秋子氏

経済学部OG 河崎秋子著『ともぐい』 第170回直木賞受賞 1月17日に第170回直木賞が発表され、本学経済学部から執筆活動を行った河崎秋子氏が、『ともぐい』が直木賞を受賞した。



道路工業株式会社 中田隆博代表取締役社長(前左)、森下宏美学長(前右)

道路工業株式会社から工学部に寄付金 1月25日、道路工業株式会社の中田隆博代表取締役社長より、本学工学部に100万円の寄付金が贈られ、1月31日、森下宏美学長より感謝状を贈呈した。

河崎秋子著『ともぐい』(新潮社刊) 第170回直木賞受賞作

名著と実務のあいだ 近世イギリスの政治社会の複合性とその変容

学びをみとる エンブレンドロジー・会話分析による授業の分析

エルドアン時代のトルコ 内政と外交の政治力学

スポーツ心理学の挑戦 その広がり深まり

反資本主義 新自由主義の危機から(真の自由)へ

地域森林管理の長期持続性 読み解く未来

経営学部講師  
中村 暁子



職業人としてのキャリア  
について、自分以外の他者  
はどれだけ重要な意味を持  
つのでしょうか。ここで  
いう他者とは、家族や友  
人、パートナーなどの私的  
領域内の誰かであることも  
あるでしょう  
し、就職した  
後ならば、上  
司、先輩、後  
輩、同期入社  
の仲のいいや  
「誰か」の存在は伝統的な

### キャリア形成に作用する他者との関係

キャリアの研究ではあまり  
重要視されてきませ  
んでした。もちろん、  
他者に言及する研究  
もありますが、就職や  
昇進、転職などの結果  
から、自社内外問わず、人  
は、個人の行動的ある  
いは性格的な特徴や、  
属性などの要因の方  
が、関連性が高いと捉  
えられてきたのです。  
このような研究に対  
する方法的批判と  
して、他者との関係性  
や相互作用に着目し  
た研究が進められる  
ようになりました。  
私の研究では特に、  
女性のキャリア形成  
において重要な意味  
を持つ他者や、他者  
との相互作用に注目  
します。他者との相互作用  
を通して、どのようなキャ  
リア観を抱き、それがどの  
ように結果に繋がるのかと  
いったプロセスを追いかけ  
ています。これまでの調査  
から、自社内外問わず、人  
として、あるいは女性とし  
ての目標が異なることや、そ  
れらの人々との決して密で  
はないが、何らかの安心感  
を感じられるようなやりと  
りがキャリアに結びつく可  
能性が見えてきました。  
組織は人により存在しま  
す。女性のみならず、社会  
で活躍する人々が相互作用  
を通して、自分だけのキャ  
リアに関する現実を構成し  
ていくその過程を理解する  
ことは、組織としてのパ  
フォーマンスの向上や目標  
の達成につながっていくと  
考えます。

法学部教授  
岩坂 将充



近年の国際社会では、E  
Uや米国など自由民主主義  
を掲げる国々と、ロシアや  
中国などそれとは異なる価  
値観を中心に据える国々と  
の対立が目立っている。こ  
のような状況において、そ  
の中間のような独特の立ち  
位置にある  
のが、エル  
ドアン大  
統領が率  
いるトル  
コである。  
2002年  
から政権の

### トルコ・エルドアンの政治戦略と 自由民主主義の今後

座にあるエルドアンは、大  
規模で直接的な不正なく選  
挙に勝ち続けている一方で  
抑圧的な傾向を強めている  
といわれており、評価が分  
かれる存在である。  
昨年のトルコの大統領選  
挙(決選投票)でのエルドア  
ンの得票率は、半数を僅か  
に超える52.2%であり、  
決して圧倒的な支持を受け  
ていないわけではない。同時  
に実施された議会選挙では、  
彼の率いる与党の得票率は  
35.6%にとどまってい  
る。エルドアンの政治手法  
を抑圧的と考える人々も多  
く存在するが、野党系勢力  
への支持が政権交代を実現  
するまでには及んでいない  
ため、結果としてエルドア  
ンや与党系勢  
力が政権を維  
持している状  
況にある。  
エルドアン  
が政権を維持  
できている要  
因の一つは、  
社会の分断の固定化に成功  
していることである。でき  
るだけ多くの人々から支持  
されているものの、人権や自由  
公権力の制限といった自由  
主義的な要素は弱いといえ  
る。  
自由民主主義  
は本来、自由主  
義と民主主義の  
理念が融合した  
ものではなく、選挙で  
多数派になれば良い、とい  
う考えに立つと、従来から  
の支持層をつなぎとめるこ  
とに傾注し批判的な層との  
対決姿勢を強調するという  
戦略が成立する。エルドア  
ンが採用するこの戦略は「  
多数派による支配」という  
意味での民主主義に立脚し  
て来ていると感ずる。



2023年選挙エルドアン掲示

研究室の窓  
経済学部准教授  
鈴木 雄大



「統計」や「データ」と  
いう言葉に対しては、「客  
観的である」といったイ  
メージを持っている人も  
多いでしょう。アカデミッ  
クな議論の場に限らず、自  
分の「感覚」だけで話を  
してしまったり「それって  
あなたの感想ですよな?」  
と言われかねません。

### 統計やデータは「客観的」か

これは政策立案におい  
ても同様で、「統計」には  
EBPM(証拠に基づく  
政策立案)における  
「証拠」の一つとして  
の役割が期待されてま  
す。EBPMとは要  
するに、「勘」や「経験」  
ではなく、「統計」や  
「データ」に基づいて  
政策の決定や評価を  
行うことを指します。  
EBPMの推進は望  
ましいことですが、  
「エビデンス」となる統  
計やデータの精度が  
確保されていること」  
が大前提です。「こ  
ういうデータがあるの  
で、このようにしま  
す」と言ったときに、そ  
のデータが誤っていれば、  
誤ったデータに基づいて  
厚生労働省が独自に加工  
したもので、学術的  
・理論的にいくつも問題  
点を含む、厚生労働省の  
「オリジナル指数」です。  
その数値も他の統計等か  
ら乖離しており、「こうい  
うデータがあるから」と  
提示したデータが、(ほぼ)  
間違いなく意図的に「実  
態と乖離したものとなっ  
ています。  
こうした問題点に気づ  
くことは一般的に非常に  
難しいことですが、「統計  
は客観的で正しい」とか  
「政府の公表する統計は信  
用できない」といった決  
めつけをせずに、統計や  
データを読み解くことが  
できる「統計リテラシー」  
や、「自分の頭で考える姿  
勢」がますます重要になっ  
てきています。

法学部准教授 池田真歩 著『首都の議会  
近代移行期東京の政治秩序と都市改造』  
サントリイ学芸賞(思想 歴史部門)受賞



表彰額とともに森下学長(左)と記念撮影

11月14日、本学法学  
部池田真歩准教授の著  
書『首都の議会―近代  
移行期東京の政治秩序  
と都市改造』(東京大  
学出版会)が「第45回  
サントリイ学芸賞(思  
想・歴史部門)」を受  
賞し、12月11日に東  
京都で贈呈式が行われ  
た。この賞は、広く社  
会と文化を考える独創  
的で優れた研究・評論  
活動を著作を通じて  
行った個人に対して  
「政治・経済」「芸術・  
文学」「社会・風俗」「思  
想・歴史」の4部門に  
分けて毎年贈呈されて  
いる。  
▼池田先生のコメント  
このたびの受賞をた  
いへんありがたく、嬉  
しく感じています。本  
書はタイトルのとお  
り、首都・東京の議会  
のはじまりをたどった  
研究です。明治維新後  
の激動期、東京という  
今も昔も巨大で複雑怪  
奇な都市の統治をめ  
ぐって、新旧の集団に  
属する人々がせめぎあ  
う、葛藤や誤算に満ち  
たプロセスを描こうと  
しました。執筆には苦  
労しましたが、『北海  
学園大学法学研究』に  
掲載され、本書の一部  
となった論文を準備す  
るなかで、方向性が定  
まっていたように思  
います。学内外でお助  
けいただいた方々に厚  
くお礼申し上げます。

教育振興会



▶奨学金受給者  
経済学研究科経済政策専攻  
博士(後期)課程2年 孟 浩宇さん  
法学部法律学科3年 孟 嘉旗さん

永年勤続者

- 今年表彰された永年勤続者  
は次のとおり。  
北海学園大学  
▼40年勤続(教員) 伊藤克己  
(経営)、高木裕之(経営)  
▼30年勤続(教員) 石嶋芳臣  
(経営)、小野丘(工)、佐藤  
淳(経営)、米田浩志(工)(職  
員)(川端淳一(法)、佐藤剛会  
計)  
▼20年勤続(教員) イアンマ  
ン(人)、郡司淳(人)、小  
林淑憲(経済)、酒井博行(法)、  
菅原浩信(経営)、寺島壽一  
(法)、セラブリックリン(人)  
(職員)、滝本広太(経営)、中  
村友佳子(図書館)、山内智  
恵(図書館)  
▼10年勤続(教員) 五十嵐素  
子(法)、一條由紀(経済)、  
内田ゆず(工)、宇土至心(経  
済)、大森輝(人)、大屋定  
晴(経済)、近藤弘毅(経営)、  
今野喜文(経営)、関合浩行(経  
営)、高氏秀則(工)、館田晶  
子(法)、谷本陽一(法)、仲  
松優子(人)、前田秀基(工)  
(職員)、関彩夏(庶務)、中  
井龍(法)  
北海商科大学  
▼30年勤続(教員) 伊藤昭男  
原子智樹  
北海高等学校  
▼30年勤続(職員) 金村周一  
▼20年勤続(教員) 大野えり奈  
村山嘉一、渡邊雅利  
▼10年勤続(教員) 設楽ちあ  
き  
北海学園札幌高等学校  
▼20年勤続(教員) 小笠原裕  
介、松田尚、マークホロウエ  
イ  
法人本部  
▼30年勤続(職員) 杉本圭吾  
▼10年勤続(職員) 梅村剛生  
高木祐輔、福岡広輔、山本舞

### アセスメントテスト GPS-Academic による問題解決力測定

本学では、学修成果を学生自身が振り返る機会を提供するとともに、キャリア支援プログラムの一環としてアセスメントテスト「GPS-Academic」を実施しています。このテストは、現代社会でとくに必要となっている問題解決力を支える「思考力」を、批判性/協働性/創造性の3つの視点から測定し、「問題解決に向かう姿勢・態度」や「問題解決の経験」もあわせて測るものです。  
結果は個別に分析がなされ、学生一人ひとりに「個人結果レポート」が返却されます。加えてフォローアップセミナーが開催され、「これからの学生生活の過ごし方」や「今の社会で必要とされる力を今後どのように磨いていく必要があるか」などを共に考えていきます。  
北海学園大学は今後も、こうしたアセスメントや各種調査を通して学生支援に取り組んでまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

退職教職員からメッセージ



経営学部教授 田村 卓哉

かけがえのない 出会いの場として

経営学部開設以来、21年間勤めさせていただきました。教職員の皆さまには大変お世話になりました。特に、経営学部の皆さまと、特にお手伝いするようになったキャリア支援センターの皆さまには、いろいろと面倒をおかけしたことをお詫言いたします。



法学部教授 佐藤 克廣

Opportunity Doesn't Knock Twice

チャンスは一度きり。若くして北海学園大学法学部に就職できたのは偶然でした。まれに見る幸運だったと思います。そして四年間(大過なく)奉職できたのも幸運のたまものと云えます。



法学部教授 鈴木 美佐子

お世話になりました!!

1998年からお世話になった北海学園大学に、このたび卒業を待たず少し早くお別れするところでした。早くお別れするところでした。早くお別れするところでした。



人文学部教授 大谷 通順

長くて短い35年間

昭和天皇が崩御され、6月4日に北京で天安門事件が発生した1989年、中国語教員として着任しました。それから35年が過ぎましたが、長いようでもあり、また短くも感じます。



工学部教授 堂柿 栄輔

60歳過ぎで志した 簿記3級試験

簿記3級試験に合格したことが少し自慢です。本屋さんの資格試験コーナーには沢山の資格試験の参考書・問題集が並んでいますが、特に簿記3級試験のコーナーは華やかです。



工学部教授 魚住 純

何にでも興味と好奇心を持つ

1999年に「計算機工学」の担当教員として電子情報工学科に採用されてから25年。途中から本来の専門である「工学」も担当し、二足の草鞋で走りつづけてきました。



工学部教授 高橋 伸幸

多くの情報に つまみ食い

平成2年に本学へ着任した当時は、ようやくパソコンが普及し始めた頃でした。私が担当していた地学分野ではスライドを多用するため授業のためにスライドの選定とスライドカードの作成が大変でした。



経済学部教授 福田 都代

図書館を 大事にして下さい

1998年4月に本学に着任して、26年間奉職させていただきました。この間、図書館課程開設50周年を迎え、コロナ禍にもかかわらず、皆さんの協力を得て、記念誌の発行と記念行事が開催されました。



経営学部教授 高木 裕之

自身で枠を作らないで

赴任して40年。当初、経済は右肩上がりの総じてアクティブな時期、大学の志願者も過去最大となり、学部・学科や研究科の新・増設など、いろいろな改革が行われました。



工学部事務部長 安達 昭弘

38年間を振り返って

昭和61年4月に本部署事務部長に就任して38年です。この38年間で退職となりましたが、38年間の仕事を全うできたのは職場の皆さんの支えがあったからだと思います。



医務室係長 田中 千里

大学の日々を振り返って

本来の停年年齢は少し早いのですが、3月末日で退職する事に致しました。学生は成長過程にあり、たくさん可能性を秘めています。



豊陵会寄贈絵画『夢見る者』 山崎 亮

北海学園学術研究助成事業報告(28)

研究課題

「絵画と日常空間における美の探求」  
「作品と背景の視点から」

工学部教授 原井 憲二

1969年山口県宇部市生まれ。東京芸術大学美術研究科絵画専攻修士課程修了。修士(美術)。1997年からフランス政府給費留学生としてエコール・デ・ボザール(美術)専攻(ルマン・フランス)で学び、2000年にD.N.S.E.P.を取得。2007年迄は熊本県直接ヘイブント・イン・アース・プロジェクトで、この数年は紙や鉄板を切り絵状にした作品制作。最近の展覧会は「本研究の成果として2022年8月に「壁と陰」展(ギャラリー・藤原(東京))と2023年1月に「彫刻の絵画」展(ギャラリー・創・札幌)。今後の展覧会は4月(札幌)と来年(札幌)を予定。

『絵画と日常空間における美の探求』は、私の研究の根幹となるテーマです。絵画的思考に基づき、美術作品とそれを飾る場所(背景)との関係を考察することに、より美を導こうとするものですが、ただ、この場所は、美術館やギャラリーなどの展示を目的とした空間だけでなく、私たちの普段の生活から想定できるさまざまな空間を指しています。美術作品と聞くと作品をよく見せるために、それを飾る特別な場所を想像してしまいがちですが、ここでいう日常空間とは普通の場合から専門的な場所を一括した空間となります。タイトルからは、絵画だけを対象としているようにも感じますが、平面から立体までジャンルを問わず美術作品全体を考察の対象としています。絵画あがりの私としては、どうしても平面と立体をひとくくりにして捉えられず、

歴史的な背景を引きずってしまふ傾向がありますが、作品とそれをとりまく空間との関係を絵画的な手法で構成することにより、新しい美しさ(価値観)を導きだすことが狙いです。

本研究「作品と背景の視点から」は、『絵画と日常空間における美の探求』をベースに、作品と背景という関係性を今までは逆の視点で考察することにより、新たな作品展開となればと思案したものです。概要としては、この逆の視点から作品を制作しそれを発表することによって検証する、という一連の取り組みとなります。創作にあたり、まずは成果発

表の場となる展示空間の視察や今回のテーマを踏まえ、ギャラリーや美術館の展示について調査を行いながら制作を進めさせてもらいました。主観的な検証も美術においては重要なのですが、やはり研究ともなれば客観的な検証は必須でしょうか。それを東京と札幌での

研究だけでなく鑑賞という意味においても必要不可欠だと再確認できたことです。なかでも、昨今の風潮から実際の現場を撮影でき、画像として記録集できたのは大きな成果といえます。次に、作品制作の観点からみても、9メートルの作品をふくめ新作21点を完成できたのは驚きです。また、紙を切り込んで見せる最近の作品展開が少し病的に感じられるため、それを和らげる狙いとして既製品を模したロール紙を制作しました。これはまさに、貴重であり新たな魅力につながるかと確信しています。そして今後の展望についても、本研究において試みた

制作は、前回発表した「額縁を無くすことにより、作品が背景と一体化する」という試みに対し、「作品自体の主張があるにも関わらず、背景を取り込み空間全体をも作品と化す」という展開となりました。これはまさに新たな美の可能性だけでなく、今現在、私が手掛けている作品の切っ掛けとなった重要な研究でした。

背景のための作品から  
作品のための背景へ



12月26日、「防災PLUS!」災害に備え、災害から身を守るための情報ポータルサイトをリリースしました。このサイトは、災害が起きた時にどのような行動をとればよいのか、日ごろからどのような備えをしておけばよいのか、等の情報がまとめられています。全員が、災害時には自身の身を守るだけでなく、防災意識を高めるためにも是非確認してください。

災害時の大学からのお知らせはG-PLUS!で発信しますので、メール転送設定を推奨します。

なお、学生向けの災害時対応マニュアル(名刺サイズ)を学部窓口で配布しています。在学生の方は必ず受け取り、常に持ち歩くようにしてください。



法学部・館田晶子ゼミ「映画で学ぶ人権」イベント開催

映画「プリズン・サークル」から  
受刑者の更生を考える

「映画で学ぶ人権」をテーマとする法学部・館田晶子ゼミが12月3日、サンタゲキ・シネマサンシャイン(札幌市中央区)で映画「プリズン・サークル」から受刑者の更生について考えるイベントを開催した。「プリズン・サークル」は、官民協働刑務所「島根あさひ社会復帰促進センター」で実施されているTC(Therapeutic Community) II回復共同体という更生プログラムを取材したドキュメンタリー映画。4人の受刑者が自身の生い立ちから振り返り、「語り」を通じて社会の一員として責任を果たすための考え方や行動を身につけていく姿を追っている。

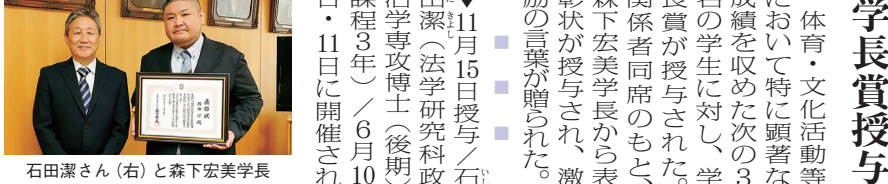
社会が変わることも重要

上映後は、出所者を支援する協力雇用主の釜澤剛(釜澤氏)と「FUTURE FLIGHT」グループ代表)をゲストに、ゼミ生4人とのアフタートークが行われた。学生たちは「幼少期の家庭環境や学校でのいじめ体験が犯罪に繋がる」と、深刻な問題だと感じている。受刑者の再犯率の高さや出所後の生活が安定しないこと、学校や地域が協働して子どもを育てたり、出所者を受け入れることが必要だ。「出所者の再犯率の高さや出所後の生活が安定しないこと、学校や地域が協働して子どもを育てたり、出所者を受け入れることが必要だ。」と、出所者の再犯率の高さや出所後の生活が安定しないこと、学校や地域が協働して子どもを育てたり、出所者を受け入れることが必要だ。

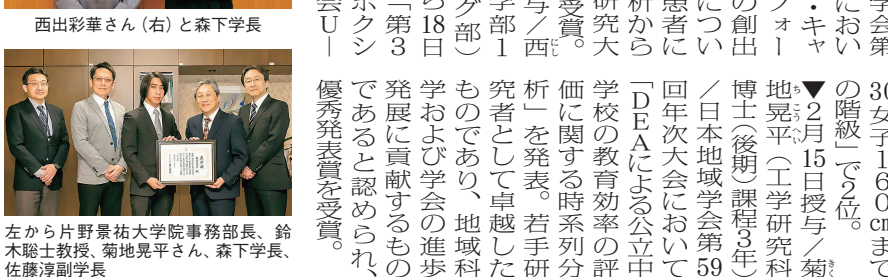


経済学部 濱田武士教授  
NHK『クロスアップ現代』に出演

11月14日放送のNHKクローズアップ現代「マグロが捨てる!?海の恵みをどう守るか」に、本学経済学部・濱田武士教授が出演した。日本では海の資源を守るため、マグロなど8魚種に漁獲量の定めがある。そのため、大小さまざまな魚が取れる定置網漁では、枠を超える魚種が含まれる場合

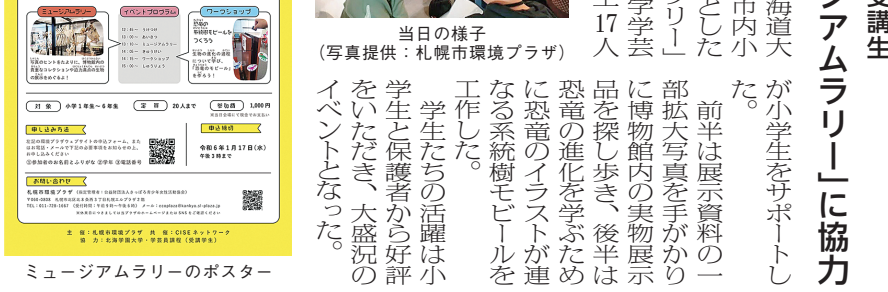


水産庁は漁獲枠が定められる魚種を23まで拡大する方針を示しており、濱田教授は「国は十分に現場の意見を聞いて、漁業者の理解と協力を得ながら慎重に進めていくことが重要。我々ができることは、食べて食文化を守る」と語った。



学長賞授与  
体育・文化活動等において特に顕著な成績を収めた次の3名の学生に対し、学長賞が授与された。

11月15日授与/石田潔(法学研究科政治学専攻博士(後期)課程3年) / 6月10日・11日に開催される日本NPO学会第25回研究大会において「ソーシャル・キャピタルがインフォーマルサービスの創出に与える影響について」を通院困難患者に関わる調査分析から「DEA」による公立中学校の教育効率の評価に関する時系列分析を発表。若手研究者として卓越したものであり、地域科学および学会の進歩発展に貢献するものであると認められ、優秀発表賞を受賞。



学芸員課程受講生「ミュージアムラリー」に協力  
1月20日、北海道大学総合博物館で市内小学生20人を対象とした「ミュージアムラリー」が開催され、本学学芸員課程の受講生17人がボランティアとして協力した。



研究室を訪ねて Vol.14

工学部電子情報工学科 高氏 秀則 教授

【制御工学I・II、センサ工学】

北海道大学大学院工学研究科システム情報工学専攻博士後期課程単位修得退学。博士(工学)(北海道大学)。研究テーマは画像・点群照合によるロボットの環境認識。

高氏 医療では手術ロボット... パンマンを見つけている技術で... 1984年に出た、お腹の中のカセットデッキに...

ロボットの構成要素は、人間の五感に当たるセンサ、頭脳に当たるコンピュータ、筋肉に当たるアクチュエーターの三つです...

ロボットは人間の「目」になれるか 画像情報が手足となって動き出す

高氏 ぼんやりと記憶に残っているのは、小学校低学年の頃に小学校の理科の教師だった親からクリスマスプレゼントとしておもちゃのロボットをもらったことです...

高氏 最初は「機動戦士ガンダム」の最初の世代です。ロボット好きからまっしぐらに研究者の道へ?

高氏 今後は、ロボットへの期待はますます高まりますが、先生の研究テーマを教えてください。

高氏 ええ、3〜4人1チームで実際にロボットを作り、道内の大学等の学生を対象とした「ロボット・トライアスロン」に参加しています...



画像情報を取り入れて工学部3号館の教室から1号館の自動販売機へ移動し、飲み物を買ってくるロボットを構想中。

高氏先生のプチ解説 ロボット開発のあゆみ

ロボットが一番の成功例は産業用ロボットです。1960年代に米国で実用化され、稼働台数の7割を日本製が占めるロボット大国日本の時代を経て、現在はアジア圏で市場が拡大中です...

高氏 ええ、3〜4人1チームで実際にロボットを作り、道内の大学等の学生を対象とした「ロボット・トライアスロン」に参加しています...

人文学部教授 仲丸 英起

ルールを逸脱した金銭の授受や、倫理的に問題のある発言など、政治家の不祥事に関する報道が続いています...

人文学部教授 田中 綾

本書は、北海道新聞朝刊「サタデーどうしん」で、2022年3月から一年間、全50回連載した小説をまとめた一冊です...

議員＝「代表」?

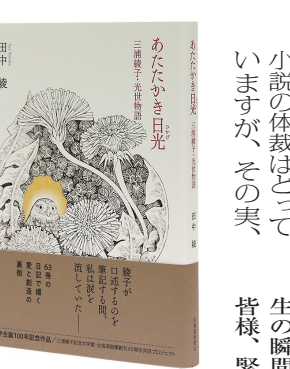
本書は、主権国家体制が確立してゆく一六世紀半ばから、いわゆるピューリタン革命勃発前の一七世紀前半に、イングランドおよびウェールズにおける下院議員の選出実態と、彼らが政治社会で果たしていた機能について、マクロ的手法とミクロ的手法を組み合わせたことで、歴史学の立場から多角的な検討を試みた研究です...

三浦綾子・光世夫妻の あたたかな半生

63冊の日記をもとに、新資料も加えた評伝小説でもあります。「永恋」や「塩狩峠」など、ミリオンセラー小説で有名な三浦綾子ですが、その半生に詳しい方は、故郷の旭川市でも少なくないと思います...



『名譽と実務のあいだ』一近世イングランド・ウェールズ政治社会の複合性とその変容 北海学園大学出版会 2023年



『あたたかき日光 三浦綾子・光世物語』 北海道新聞社 2023年



# 学園人脈記

第26回

詩人 故永 しほる

人文学部日本文学学科 令和2年度卒・25期生

多種多様な業界で活躍する同窓生をリレー形式で紹介している「人脈記」。今回は、詩人の故永しほるさんを紹介する。

■ 故永さんの私家版詩集『壁、鏡』が、第57回北海道新聞文学賞・詩部門の本賞を受賞した。故永さんが詩を書きはじめたのは、高校の文芸部に所属してからだ。

「もともと小説を書いてみたいんですが、文芸部で大会に応募するときに、せっかくならほかに詩も書いてみようと思ったのがきっかけです。小説は書いていた途中で別のアイデアが浮かんだり、表現の細部が気になったりして、ひとつの作品を書き終われないことが続いていたんです。

平成10年度生まれの北海道育ちが集まる文芸同人「北十(ほくじゅう)」に所属し、一度、同人誌『砂時計』を発行している。定期的に札幌や東京の文学フリマに参加するなど、活動の場は多い。

受賞作は表紙にタイトルや著者名の記載が無く、装画のみという独特の装丁だ。「前作を出したあと、次に本を出すときは本にしかできない、本としておもしろいものを出したいと思いました。詩の内容が息苦しいので(笑)、それをどうやって形式で表現しようかと考えました。詩には最初にタイトルがついていないものがありますが、もしこれが無ければひとつの詩がどこから始まり、どこで終わるかはつきりしません。読者は息継ぎができていないのか、いつまで続くのか曖昧なまま潜らされている

ました。形式的には詩のほうに向いている気がして、詩作は、二行ほどのフレーズの思いつきからはじまる。メモのためにいき、行間が生まれたり、並び替えたりしながら、最初のフレーズから離れてまったく新しい言葉が生まれることもある。「日常でも常に2割くらい創作モードになっていて、机に向かってメモの内容を動かすことによって流れができていく、という作り方をしています。」

大学時代は、言葉のおもしろさを学んだ。「アイトル先生や柴田崇先生からは、言葉のセンサーが磨かれる機会をもらったと思います。単なる伝達手段ではない言葉のおもしろさを知りました。田中綾先生にはサークルでもたいへんお世話になりました。他校の文学サークルとの交流も思いに残っています。」

学生へのメッセージをもらった。「大学は必ずしもやりたいことがありでなく、やらされていると感じることもあるかと思いますが、どんなことでも何かに役立ててやろうというテンションで取り組むといいです。そういうものが大学生活にはいっぱいあると思いますから。」

本学附属図書館にも収蔵されているので、故永さんの作品を手に取り、世界観を堪能してほしい。

プロフィール 2021年北海学園大学人文学部卒業、文芸同人「北十」で活動する傍ら、私家版の単著を二冊発表。2023年日本詩人クラブの「新しい詩の声」で最優秀賞を受賞した。『壁、鏡』(つしん)を含む第二詩集『壁、鏡』が第57回北海道新聞文学賞・詩部門の本賞を受賞。

## 北海道新聞文学賞詩部門本賞を受賞

■ 大学時代は、言葉のおもしろさを学んだ。

■ アイトル先生や柴田崇先生からは、言葉のセンサーが磨かれる機会をもらったと思います。

■ 単なる伝達手段ではない言葉のおもしろさを知りました。



受賞作の『壁、窓、鏡』(右)と北十の同人誌『砂時計』



旭川市議会議員

小林 ゆうき

法学部政治学科 令和元年度卒・18期生

庭環境だ。生活保護を受けながら母子家庭で育ったのですが、母親から虐待を受け、小学校も中学校も行けませんでした。定時制の高校に入学したものの、学費、金銭面、体調

昨年4月に行われた旭川市議会議員選挙で、最年少で当選した小林ゆうきさん。政治に関心を持ったきっかけは、自らの家庭環境だ。

「生活保護を受けながら母子家庭で育ったのですが、母親から虐待を受け、小学校も中学校も行けませんでした。定時制の高校に入学したものの、学費、金銭面、体調

## 同窓生の声

「自分の経験をもとに政治を変えたい」

大学では、高校からスタートして、一般社団法人「NOLIMIT旭川」を立ち上げた。様々な事情で困難を抱える若年女性をサポートする。「私の知人がデートDVで家を追い出された時、旭川で使える支援制度が無いと調べてみると、無いんですね。既存の支援制度は母子であったり、身体的DV被害者といった層を対象としていて、彼女は当てはまらなかった。その

## 地域の現場から

「クラフトビールづくりの虜になって」

クラフトビールづくりの虜になって、江別市でクラフトビールを製造している多賀谷さんは、子どもの頃からものづくりが大好きだった。大学卒業後は、何かしらものづくりに関わりたくて就職せず、将来を模索していた。転機はまもなく訪れた。1994年

「クラフトビールづくりの虜になって」

クラフトビールづくりの虜になって、江別の酒税法改正により「地ビール」がつくれるようになった。国で地ビール醸造所が増え、全国的にクラフトビールがブームになった。大学の友人の父親が営む貿易会社で、カナダから地ビール製造用の小規模設備の輸入販売を始めると聞いて、面白そうだと。それで志願して入社させてもらいました。

当時は北米がクラフトビールのメッカといわれていた。設備と技術指導の勉強がスタートした。

数年後には、全国の地ビールコンテストで2年連続金賞を受賞し、本州の方で徐々に知られるようになった。そして2009年に江別に拡張移転。より北海道のブランドイメージを意識して、ビール名を「ノースアイランドビール」に改めた。現在は定番の5種類のほか、季節限定を2カ月ごとに6回、クリスマスやお正月など定期的なもの以外、ほとんどが単発でつくられる一期一会のビールだ。これらをつくるのが面白いところ。クラフトビールは、お客様が味わってほしい。クラフトビールは、お客様が味わってほしい。クラフトビールは、お客様が味わってほしい。



SOCブルーイング株式会社

取締役工場長 多賀谷 壮

法学部法律学科 1998年度卒・I33期

「自分の経験をもとに政治を変えたい」

大学では、高校からスタートして、一般社団法人「NOLIMIT旭川」を立ち上げた。様々な事情で困難を抱える若年女性をサポートする。「私の知人がデートDVで家を追い出された時、旭川で使える支援制度が無いと調べてみると、無いんですね。既存の支援制度は母子であったり、身体的DV被害者といった層を対象としていて、彼女は当てはまらなかった。その

「自分の経験をもとに政治を変えたい」

大学では、高校からスタートして、一般社団法人「NOLIMIT旭川」を立ち上げた。様々な事情で困難を抱える若年女性をサポートする。「私の知人がデートDVで家を追い出された時、旭川で使える支援制度が無いと調べてみると、無いんですね。既存の支援制度は母子であったり、身体的DV被害者といった層を対象としていて、彼女は当てはまらなかった。その

「自分の経験をもとに政治を変えたい」

大学では、高校からスタートして、一般社団法人「NOLIMIT旭川」を立ち上げた。様々な事情で困難を抱える若年女性をサポートする。「私の知人がデートDVで家を追い出された時、旭川で使える支援制度が無いと調べてみると、無いんですね。既存の支援制度は母子であったり、身体的DV被害者といった層を対象としていて、彼女は当てはまらなかった。その

「自分の経験をもとに政治を変えたい」

大学では、高校からスタートして、一般社団法人「NOLIMIT旭川」を立ち上げた。様々な事情で困難を抱える若年女性をサポートする。「私の知人がデートDVで家を追い出された時、旭川で使える支援制度が無いと調べてみると、無いんですね。既存の支援制度は母子であったり、身体的DV被害者といった層を対象としていて、彼女は当てはまらなかった。その

「自分の経験をもとに政治を変えたい」

大学では、高校からスタートして、一般社団法人「NOLIMIT旭川」を立ち上げた。様々な事情で困難を抱える若年女性をサポートする。「私の知人がデートDVで家を追い出された時、旭川で使える支援制度が無いと調べてみると、無いんですね。既存の支援制度は母子であったり、身体的DV被害者といった層を対象としていて、彼女は当てはまらなかった。その

「自分の経験をもとに政治を変えたい」

大学では、高校からスタートして、一般社団法人「NOLIMIT旭川」を立ち上げた。様々な事情で困難を抱える若年女性をサポートする。「私の知人がデートDVで家を追い出された時、旭川で使える支援制度が無いと調べてみると、無いんですね。既存の支援制度は母子であったり、身体的DV被害者といった層を対象としていて、彼女は当てはまらなかった。その

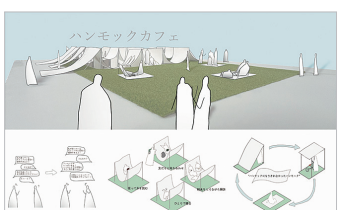
## 工学部 卒業研究発表会

4年間の集大成となる工学部各学科の卒業研究発表会が、2月に山鼻キャンパスで行われた。自分の研究テーマを、緊張しながらも充実した面もちで説明していた。



建築学科 論文(2月15日) 建築学科 設計(2月19日)

生命工学科(2月5、6日) 電子情報工学科(2月5、6日) 社会環境工学科(2月20日)



藤本賞受賞作品「ハンモックカフェ」建築学科2年 越智伊織



総合資格賞受賞作品「RIDE THE WIND design school」建築学科3年 西垣優衣

「北海道組新人戦2023」2名入賞

「北海道組新人戦2023」で、工学部建築学科2年生の越智伊織さんが総合資格賞を受賞した。

## 工学部建築学科の学生 コンペで各賞受賞

第8回三協アルミ「三協アルミ賞」受賞

第8回三協アルミ学生建築コンペで、工学部建築学科石橋研究室4年・芝田碧敬さん、源竜河さん、岡本

研究4年・佐藤孝太郎さんによるグループ作品が三協アルミ賞を受賞した。応募総数90件から選ばれた。

三協アルミ賞受賞作品「SUTENA-PARK ~サステナブルな暮らしを共に~」

経営学部 中村研究室

### クラフトビールの商品企画と醸造を实践



完成した商品

当演習(2部)では、生産者のストーリーや消費者の個別の嗜好性が消費行動に直結する、新たな時代における経営学の貢献を検討し、そのための組織の実践を学ぶために、沿岸に工場を構えるトランスフューイング様のご協力のもと、クラフトビールの商品企画を行ってまいります。

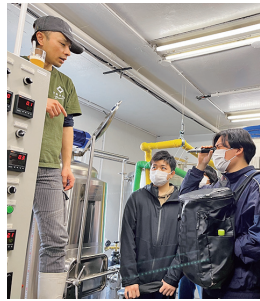
令和5年度はトランスフューイング様よりいただいた「世界一美味しいビールとは何か?」という問いに答えるために、市場

Z世代の嗜好ヒントに考案

12月末に醸造を開始し、2月上旬よりトランスフューイング様のピアスタンド(狸小路横丁内)や、札幌市内の酒店、飲食店等で提供されます。若い世代の考える「世界一美味しいビール」を、多くの方に選んでいただくと嬉しです。

### Z世代の嗜好ヒントに考案

2023年



工場見学の様子



参加した学生と指導を担当した越前谷博教授(左)、友池史明准教授(右)

工学部生命工学科の3チーム  
札幌商工会議所の  
学生アイデアコンペで発表

令和5年11月21日(火)、「ものづくり産業の振興」一起札幌商工会議所主催の第6回「北海道経済の活性化」を目的として開催された。今回は本学が唯一の私立大学として参加し、地域の問題を解決するアイデアを発表しました。

学生たちのアイデア発表には、道内企業から多くの質問があり、特に生命工学科二年の飯野さんが率いるチームが提案したクマ対策のアイデアは、札幌テレビ放送のどさんこワイド(2023年11月24日放送)内でも紹介されました。さらに、発表した学生たちには札幌商工会議所から優秀賞が贈られました。

今回、参加した学生7チームは、道内企業から多くの質問があり、特に生命工学科二年の飯野さんが率いるチームが提案したクマ対策のアイデアは、札幌テレビ放送のどさんこワイド(2023年11月24日放送)内でも紹介されました。さらに、発表した学生たちには札幌商工会議所から優秀賞が贈られました。

このイベントは、毎年「理工系学生の本道定着」

「理系学生の本道定着」

「理工系学生の本道定着」



札幌テレビのどさんこワイドでも取り上げられました



上西翔太さん(左)と大久保柊弥さん

少林寺拳法部  
全国大会6位入賞

11月5日に東京都の日本武道館で開催された第57回少林寺拳法全日本学生大会で、本学少林寺拳法部の大久保柊弥さん(経営学部経営情報学科2年)・上西翔太さん(工学部社会環境工学科2年)が、組演武男子二位の部において6位に入賞した。



佐藤立盛さん(左)と布施翔太さん

パーベルクラブ  
全国大会6位入賞

11月25日・26日、岡山県で開催された文部科学大臣杯第50回パーリフティン選手権大会で、本学パーベルクラブの佐藤立盛さん(人文学部英米文化学科4年)が男子66kg級、布施翔太さん(経済学部経済学科2年)が男子83kg級で、どちらも6位に入賞した。



神内さん(中央)とエールを送る2部田中綾ゼミ生たち

れにより、12月17日開催の第14回全国大会学ビリオバトル・首都決戦

11月12日、全国大学学ビリオバトル北海道Aプロット決勝大会(学ビリオバトル)が開催された。本学は、発表者たちがおもしろいと思う本1冊を5分で紹介し、参加者全員が一番読みたいと思った本に一票を投じて「チャンプ本」を決めるというユニークな形式で行われた。本大会は全国各地でプロット予選・プロット決勝を開催。延べ1,687名の学生がおすすすめ本を紹介し、熱いバトルを繰り広げた。

神内さんは「大きなパンダと小さなドラゴン」(サンマーク出版、2023年)を紹介し、上位30人となるゼミファイナルまで勝ち上がる健闘を見せた。

2017年から工学部建築学科では、岡本研究室を中心に沼田町の空き家リノベーション活動に取り組んでいる。

今年度の3巡目は、8月26日から4泊5日、沼田町夜高あんどん祭りに参加し、地域との交流を深めた。作業はアトリエのある移住体験住宅として室内に土間を設けるため、デッキプレート職人になった卒業生の協力を得た。9月2日からは業者のサポートを受けながら、メッシュ筋設置、コンクリート打設などの作業を行った。

最終作業日程は9月19日から5泊6日。総勢9名の学生が見切り材付け、壁の

### 2023年度「学園オリジナルワイン」スパークリングロゼ完成

工学部生命工学科では八剣山ワイナリー(亀田和俊一社長・札幌市南区)と連携し、ワインプロジェクトを進めている。2023年度は赤ワイン・白ワイン・スパークリングロゼワインの3種を仕込み、このたび、他の2種に先立ちスパークリングロゼが完成し、2月2日に学内予約受け渡しが行われた。

2023年度のワインには、土地の個性(テロワール)を重視したワイナリーを研究し、新沼協研究室の学生の研究により八剣山ワイナリーのブドウ畑から単離・選抜されたオリジナルワイン醸造好適

学内予約受け渡しの様子

←詳細は学園オリジナルワインホームページ

沼田町空き家リノベーション・プロジェクト完成

完成後に記念撮影

クロス貼り、床のクッションフロア敷設などを行った。24日の午前中に清掃を行い、お披露目を迎えた。町長、副町長をはじめ、お子さんを連れたファミリーなども訪れ、学生へ労いとお褒めの言葉をいただいた。ゼミ生の活躍はもとより、後輩をはじめ多くの人のサポートで完成した住宅は、移住体験者の募集を始めている。

### 私の学び

経営学部経営学科3年 荒川 洗大

私は、主に「平岸マルシェ」の運営サポートをする学生団体マルシェ本舗の学生代表を務めています。現在は経営学部、経済学部を中心とした20名ほどのメンバーで活動しています。平岸マルシェでは、「ここしかない出会い」をコンセプトにスーパーではないような商品や生産者と消費者を繋げる場の提供をしています。団体としては主にSNS運用や集客における企画、当日運営に励んでいます。また、企業とのコラボでオリジナル商品の開発を行ったりもしています。

活動の軸として学生が主体的に行動し、成長することで地域へ力を還元することを大事にしています。実際に、10月にはハロウィン子ども縁日を行いました。内容は、仮装してきた子どもはお菓子の積み取りが当たり、大いと思っています。

自分が成長する中で、地域課題に気づき、解決に向けて仲間と励むことは経営学の基礎を体験できる機会と考えており、今後も継続発展していきたいと思っています。

第55回全道ロシア語弁論大会 特別賞

第55回全道ロシア語弁論大会が、12月2日、本学豊平校舎で実施された。4年ぶりの対面開催となった同大会では、工学部生命工学科1年の吉崎仁子さんがBクラスに出場し特別賞の札幌姉妹都市協会賞を受賞した。

スピーチのテーマは「遠くまで近いノヴォシビルスク」。吉崎さんは中学生の頃にシベリアの都市ノヴォシビルスクでホームステイしたことを機にロシア語を学びはじめ、コロナ禍と戦争でロシアへの渡航が叶わない中でも熱心に勉強を続けてきた。今年度本学に入学

吉崎仁子さんのコメント

今回全道ロシア語弁論大会で、札幌の姉妹都市であるノヴォシビルスクから来た留学生との思い出について話させていただきました。留学生の日本語が上達していく姿を目の当たりにし、自分もロシア語がうまくならないかと思ひ弁論大会に挑戦しました。自分が経験したことがこのように賞を頂ける結果となつた、大変光栄です。次は上級者クラスに挑戦しよう、良い結果を出せるよう、ロシア語の勉強を進めていこうと思います。

第55回全道ロシア語弁論大会 特別賞

第55回全道ロシア語弁論大会が、12月2日、本学豊平校舎で実施された。4年ぶりの対面開催となった同大会では、工学部生命工学科1年の吉崎仁子さんがBクラスに出場し特別賞の札幌姉妹都市協会賞を受賞した。

スピーチのテーマは「遠くまで近いノヴォシビルスク」。吉崎さんは中学生の頃にシベリアの都市ノヴォシビルスクでホームステイしたことを機にロシア語を学びはじめ、コロナ禍と戦争でロシアへの渡航が叶わない中でも熱心に勉強を続けてきた。今年度本学に入学

学生の成長×地域貢献

人も買い物をする事で、加えられる抽選会を実施し、来場者が1000人を超え大盛況を実現できました。開催と並行して行ったアンケートでも、平均満足度が5段階中4.3と高評価で「今後も続けてほしい」と感じられた。また、来場者も60%以上が豊平区の方で大学生が地域に対して貢献できるという自信を持てる出来事となりました。

キャリア支援センター 就職活動 INFORMATION

卒業される皆さんへ

卒業おめでとうございます。皆さんは入学時から新型コロナウイルス禍により大変な大学生活を過ごされたが、よく大学生活を走り抜けたと思います。しかし現代社会は新型コロナウイルス禍だけでなく、ロシアとウクライナの対立、イスラエルとパレスチナの紛争等、情勢が流動的になっており、今後も予測外な事象が皆様の前に立ちほだかることと思います。このような世界の動きにこれから皆さんは仕事を通して対応をしていくことになると思います。日本国内をターゲットとした企業だから、世界情勢はあまり関係ないなど安易に考えることはせず、風が吹けば桶屋が儲かるということがあるとあります。世界情勢が日本の経済・業績に影響を与えることは普通のことです。全てのことを予測することはAIであって難しいことだと思います。壁に当たる度、英知を以って対応していくことになるでしょう。

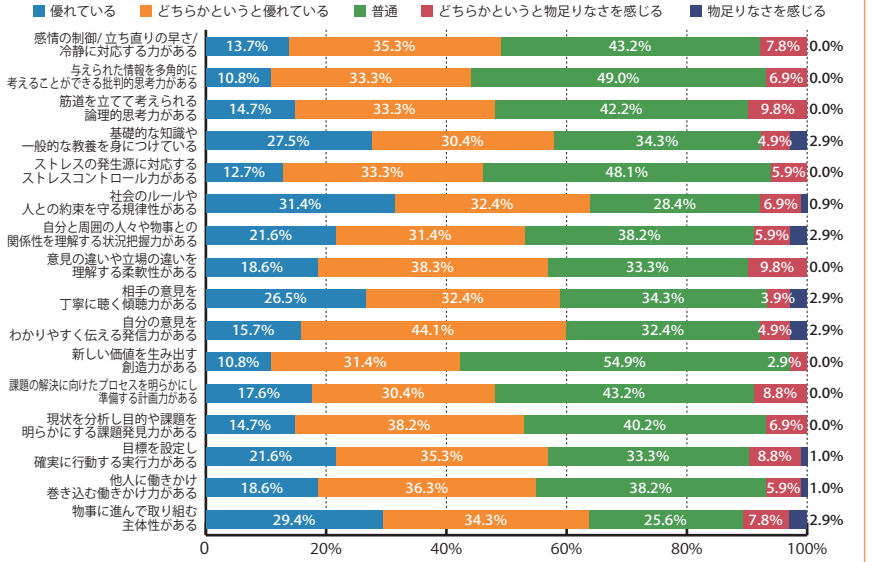
このように社会に出ての新生活では様々な面で不安が押し寄せて参りますが、大学を始め、今まで経験してきた知識・教養が必ず皆さんの役に立ちますので、悩んだ時は一度立ち止まり、考えてから行動をしていただければと思います。

考える際に忘れてはいけないこと(ごまかし)は、これは個人的な戒めではあります。この「ごまかし」は、いろいろな「ごまかし」があると思いますが、この「ごまかし」は、経験でしか物事を測れなくなっていく傾向があります。なるべく思考を柔軟にし、多くの意見を聞いたり、よくの方の意見を聞いたり、より良い回答・解決策を模索してください。時に耳の痛い助言があるかも知れませんが、その時は、その場限りの感情に押し流されず、その助言は悪意を以て為されたものなのか、自分の為を考えてしてくれているのか、各項目について5段階評価していただきたいと思います。60%以上の企業が「優れた結果が(図表1)です。

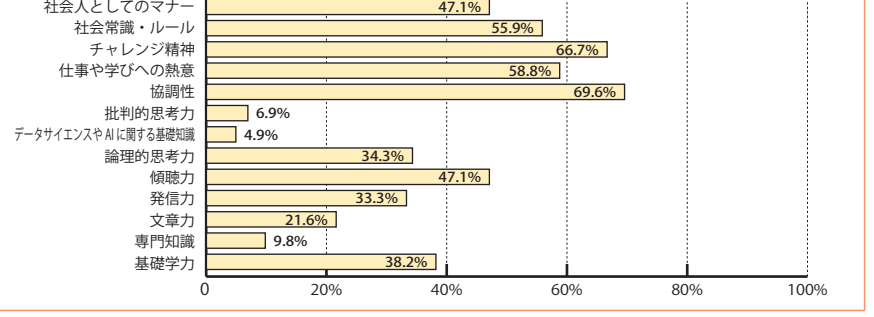
企業アンケートの実施 昨年12月に当センターでは、企業に対し「教育活動・学習支援に関する調査」を実施しました。目的は、本学学生・卒業生の印象や大学への要望、採用時に重視する項目など回答いただき、その結果を今後の学生支援に活用するためです。今回は、一部のみご紹介となりますが、本学が社会からどのように見られているのかを知る良い機会になればと思います。

学園生の印象 本学の学生・卒業生についてどのような感想を持っているのか、各項目について5段階評価していただきたいと思います。60%以上の企業が「優れた結果が(図表1)です。

【図表1】北海学園大学の学生・卒業生についての感想



【図表2】卒業までに身につけて欲しいと思うもの



令和6年度 健康診断日程表

Table with columns: 学年・健診日, 学部・学科, 時間, 会場. Includes sections for 新1年生 (4月6日), 新2年生 (4月4日), 新3年生 (4月3日), 新4年生・研究生 (4月1日).

卒業生アンケート調査へのご協力をお願い

このたびは本学では、卒業後一定の年数を経過した卒業生の方に、教育の成果(役立ち度)・本学への期待・要望、キャリア意識、帰属意識に関するアンケート調査を実施いたします。調査結果は、今後の本学の教育活動等の改善及び在学生への各種支援内容の向上のため役立てます。対象となる卒業生の皆様のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

4年生の皆さんへ「進路調査票」提出のお願い

「進路調査票」は、大学から卒業生に対する調査で卒業後の進路について最終決定を要するものではありません。提出するようご協力をお願いします。提出方法は、①文部科学省の進路統計調査、②キャリア支援センターの進路調査、③キャリア支援センターの進路調査、④回覧活動(会報発送、事業案内等)に使用される以外に、個人情報保護法を遵守し、それ以外に利用することはありません。

豊平校舎(大学院生)

Table with columns: 学年・健診日, 時間, 会場. Includes sections for 新1年生 (4月6日) and 新2年生以上 (4月1日).

山鼻校舎(工学部生・研究生・大学院生)

Table with columns: 学年・健診日, 学科, 時間, 会場. Includes sections for 新2年生 (4月3日), 新3年生 (4月3日), 新4年生・研究生 (4月3日), and 大学院 (4月3日).

令和6年度 行事日程

Table with columns: 月(曜日), 行事. Lists events from March to September, including health checkups, orientation, classes, and graduation ceremonies.

令和5年度 卒業証書・学位記授与式

3月20日(水/祝) 10:30~12:00 予定. 式典会場: 北海道立総合体育センター 「北海きたえーる」メインアリーナ.

卒業祝賀会

3月20日(水/祝) 14:00~15:30. 会場: 札幌パークホテル 地下2階 「パークプラザ」.

令和6年度 入学式

4月2日(火) 10:30~11:30 予定. 式典会場: 北海道立総合体育センター 「北海きたえーる」メインアリーナ.